

西大和つつしん

2016年 7月号

No.409



雨上がり

クリーンハイクのご褒美は

ささゆりの花 お出迎え

<2016年6月5日：二上山>

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第409号(2016年7月号)

【目次】

7月度・8月度山行計画	1
7月度・8月度カレンダー	5
山行・行事等参加メモ	6
山行報告	
・自主山行 《4/29-5/3》 北アルプス 白馬岳(藤本)	7
・例会山行 《5/22》 高見山地 学能堂山(中)	11
・登山学校 《5/22》 比良の山 第3回実技山行 堂満岳(野路)	12
・自主山行 《5/28-29》 大峰の山 大峰山南奥駈(多賀・亀井)	14
・雪山学校 《6/4》 台高の山 高見山北尾根(今井)	16
・例会山行 《6/5》 金剛山地 二上山クリーンハイク(中)	17
・自主山行 《6/8》 台高の山 大ヶヶ原(野路)	18
・例会山行 《6/6,6/11》 京都の山 金毘羅山岩稜歩行講習会(高橋・杉森)	19
室内例会だより(5/25)	21

7月度山行計画

岩の甲冑をまとう奇峰、兜岳・鎧岳を縦走しよう!!

例会山行1 室生の山《兜岳 920m～鎧岳 893.9m》

【日程】2016年7月3日(日)(L 亀高)

【集合】上牧町役場前駐車場 午前7:00 出発

【コース】サンビレッジ普爾～(20分)～延命地藏～(50分)～兜岳～(25分)～峰坂峠～(40分)～鎧岳～(30分)～峰坂峠～(40分)～分岐～(10分)～普爾郵便局
※歩行時間：3時間35分 ※姫石の湯で入浴予定(お亀の湯改修中)

～岩場と急登を越えて台高の前衛峰へ!!～

教育山行(夏山訓練) 台高の山《迷岳 1309m》

【日程】2016年7月10日(日)(L 藤井)

【集合】上牧町役場前駐車場 午前7:00 出発

【コース】奥香肌峡スメール～(2h)～飯盛山～(2h40分)～迷岳～(1h)～唐谷分岐～(1h20分)～林道終点～(50分)～登山口
※歩行時間：7時間50分、 ※スメールで入浴予定

～富士山はじめ日本の名峰を美しい稜線から～

例会山行2(夏山山行) 南アルプス《鳳凰三山》

【日程】2016年7月15日(金)～17日(日)(L 藤本)

【集合】王寺駅南口 7月15日午前10:00 出発

【コース】《7/15》王寺駅南口⇒夜叉神峠登山口(16:30)〔旅館泊〕
《7/16》夜叉神峠登山口(6:30)～砂払岳～薬師岳小屋(15:00)〔小屋泊〕
《7/17》小屋(6:00)～薬師岳～観音岳～地藏岳～青木鉱泉(14:30)⇒王寺(23:30)

夏山自主山行計画

拇海新道 北アルプス 《白馬岳～朝日岳～親不知》

【日 程】2016年7月23(土)～28日(木) (L 辻)

【集 合】王寺駅周辺 午前 10:00

【コース】《7/23》〔往路〕王寺駅周辺⇒(北陸道)⇒蓮華温泉(泊)

《7/24》蓮華温泉～(3h)～白馬大池～(3h30分)～白馬岳～(10分)～白馬山荘(泊)

《7/25》白馬山荘～(15分)～白馬岳～(2h50分)～雪倉岳～(3h45分)～朝日小屋(泊)

《7/26》朝日小屋～(1h)～朝日岳～(4h20分)～黒岩山～(3h40分)～拇海山荘(泊)

《7/27》拇海山荘～(4h)～白鳥山～(5h10分)～親不知観光ホテル(泊)

《7/28》〔復路〕親不知観光ホテル⇒(北陸道)⇒王寺周辺(帰着 17:00 頃)

【歩行時間】7/24:6時間40分、7/25:6時間50分、7/26:9時間10分、7/27:9時間10分

不帰のキレット 北アルプス 《白馬岳～唐松岳》

【日 時】2016年8月7日(日)～10日(木) (L 島崎)

【集 合】近鉄佐味田川駅 12:00 出発

【コース】《8/7》佐味田川駅(12:00)⇒猿倉荘(20:00)

《8/8》猿倉荘(6:00)～白馬尻荘(7:30)～白馬山荘(13:30)～白馬岳(14:00)～白馬山荘(14:30)(泊)

《8/9》白馬山荘(6:00)～杓子岳(7:30)～鑓ヶ岳(8:40)～天狗山荘(9:20)～天狗尾根コル(11:30)～唐松岳(15:30)～唐松山荘(15:40)(泊)

《8/10》唐松山荘(6:00)～八方池山荘(10:00)～ゴンドラ八方駅(11:00)⇒王寺
※王寺帰着 21:00 頃

穂高岳縦走 北アルプス 《北穂高岳～奥穂高岳～前穂高岳》

【日 時】2016年8月9日(火)～13日(土) (L 亀高)

【集 合】大阪梅田 23:00 出発

【コース】《9日》大阪梅田(23:00)⇒[さわやか信州号]⇒(車中泊)⇒上高地

《10日》上高地～(55分)～明神～(2h10分)～横尾～(3h)～涸沢山荘(泊)

《11日》涸沢～(3h)～北穂高岳～(2h10分)～涸沢岳～(20分)～穂高岳山荘(泊)

《12日》山荘～(50分)～奥穂高岳～(2h10分)～前穂高岳～(4h20分)～上高地(泊)

《13日》上高地(14:20)⇒[さわやか信州号]⇒大阪梅田(20:46)

【歩行時間】8/10:6時間5分、8/11:5時間30分、8/12:7時間20分

南アルプス 《甲斐駒ヶ岳・仙丈ヶ岳》

【日 程】2016年8月18日(木)～21日(土)

【集 合】王寺駅 14時00分 出発 (L 島崎)

【コース】《21日》王寺発(13:00)⇒(SAで夕食)⇒仙流荘(19:00頃着)(泊)

《22日》仙流荘バス停(6:00)⇒(バス)⇒北沢峠(7:00)～仙水峠(9:20)～駒津峰(11:00)～甲斐駒ヶ岳(12:30)～駒津峰(14:00)～双児山(14:40/14:50)～北沢峠(16:00)～長衛小屋(16:15)(テント泊)

《23日》長衛小屋(4:30)～大滝の頭(6:30)～馬の背ヒュッテ(7:30)～仙丈ヶ岳(9:10)～小仙丈ヶ岳(10:00)～大滝の頭(10:40)～長衛小屋(12:00 テント撤収)～北沢峠(12:45/13:00 発)⇒(バス)⇒仙流荘(13:50/15:30)⇒王寺駅(21:00 頃)

北アルプス 《五竜岳～鹿島槍ヶ岳》

【日 程】2016年8月18日(木)～22日(月)

【集 合】大阪駅 21時50分発 高速バス (L 藤井)

【コース】《18日》大阪(21:50 発)⇒(高速バス)⇒長野(6:42 着)

《19日》長野(8:20 発)⇒(バス)⇒白馬八方(9:35 着)⇒(ゴンドラ・リフト)
⇒八方池山荘～(1h)～第二ケルン～(2h30分)～唐松岳頂上山荘～(20分)～
唐松岳～(15分)～唐松岳頂上山荘(泊)

《20日》山荘～(2h30分)～五竜山荘～(1h)～五竜岳～(2h30分)～ロノ沢の科尔～
(1h30分)～キレット小屋(泊)

《21日》小屋～(2h30分)～北峰～(25分)～鹿島南峰～(40分)～布引山～(50分)～
冷池山荘(2h20分)～爺ヶ岳(40分)～種池山荘(泊)

《22日》種池山荘(3h15分)～扇沢⇒(バス・タクシー)⇒大町温泉(11:20 発)⇒
(バス)⇒長野(12:50 着/14:15 発)⇒(バス)⇒大阪(20:55 着)

【歩行時間】8/19:4時間05分、8/20:7時間30分、8/21:7時間25分、8/22:3時間15分

北アルプス 大キレット 《南岳～北穂～奥穂～前穂高岳》

【日 程】2016年9月3日(土)～7日(水) (L 島崎)

【集 合】近鉄佐味田川駅 13:00

【コース】《3日》佐味田川駅(13:00 発)⇒新穂高駐車場(仮泊)

《4日》新穂高温泉(6:00 発)～白沢出合～槍平小屋～南岳小屋(泊)

《5日》南岳小屋(6:00 発)～A 沢の科尔～北穂山頂～涸沢岳～穂高岳山荘(泊)

《6日》穂高岳山荘(6:00 発)～奥穂高岳～前穂高岳～岳沢小屋～上高地
⇒新穂高温泉(泊)

《7日》新穂高温泉⇒王寺 帰着予定 21:30 頃

8 月 度 山 行 計 画

～奥美濃最高峰からの眺望を楽しみましょう～

例会山行2 越美山地 《能郷白山》

【日 程】2016年8月21日(日) (L 田中悦)

【集 合】上牧町役場前駐車場 午前5:00 出発

【コース】温見峠～(2h)～能郷白山頂上～(10分)～祠のピーク～(10分)

～能郷白山頂上～(1h20分)～温見峠

※下山後入浴しますので準備をお願いします。

※帰着予定 21:30 頃

～室生火山が創り出した渓谷美を歩く～

例会山行1 室生赤目 《赤目四十八滝》

【日 程】2016年8月28日(日) (L 辻)

【集 合】近鉄赤目口駅 9:00

【コース】赤目滝バス停～千手滝～百畳岩～琵琶滝～岩窟岩～(往路を戻る)

～赤目滝バス停

※帰宅予定 16:00 頃

9 月 度 山 行 計 画

～八ヶ岳の主峰・赤岳に登頂して展望を楽しみましょう～

例会山行2 (テント山行) 八ヶ岳 《赤 岳》

【日 程】2016年9月24日(土)～25日(日) (L辻)

【集 合】9月24日 王寺駅南口 5:00 出発

【交 通】王寺駅⇒香芝 IC⇒(名阪道・中央道)⇒諏訪南 IC⇒美濃戸

【コース】

《24日》美濃戸口～(1h30分)～美濃戸～(2h30分)～行者小屋(テント場泊)

《25日》行者小屋～(地藏尾根 1h30分)～地藏の頭～(1h)～赤岳～(文三郎尾根 1h30分)～行者小屋(テント撤収)～(2h)～美濃戸～(1h)～美濃戸口

【歩行時間】9/24:4時間、9/25:7時間

※帰宅予定：王寺駅(22:00～23:00頃) ※帰路入浴と夕食を予定

夏山山行予定の山々

例会山行2 鳳凰三山



観音岳から地藏岳を望む。天に突き上げるオベリスクが象徴的。後ろの雲中には甲斐駒ヶ岳

自主山行 白馬岳



杓子岳山頂から望む白馬岳

自主山行 穂高岳縦走



涵沢岳から穂高岳山荘の後ろの奥穂高岳を望む

自主山行 甲斐駒・仙丈ヶ岳



仙丈ヶ岳の下山道から甲斐駒ヶ岳を望む

西大和山の会 カレンダー

7 月			8 月		
1	金		1	月	
2	土	山筋ゴーゴー体操基本講習会	2	火	県連理事会
3	日	例会山行1 兜岳・鎧岳(亀高)	3	水	
4	月		4	木	
5	火	県連理事会	5	金	
6	水		6	土	
7	木		7	日	夏山自主山行
8	金	座学「天候判断」	8	月	北アルプス:不
9	土		9	火	帰キレット 白
10	日	教育山行:夏山訓練 迷岳(藤井)	10	水	馬岳~唐松岳
11	月		11	木	(島崎)
12	火		12	金	
13	水		13	土	
14	木		14	日	
15	金		15	月	
16	土	夏山例会山行2	16	火	
17	日	南アルプス:鳳凰三山(藤本)	17	水	
18	月		18	木	夏山自主山行
19	火		19	金	南アルプス:甲斐
20	水	西大和つうしん原稿締切	20	土	駒・仙丈ヶ岳(島崎)
21	木		21	日	例会山行2 能郷白
22	金		22	月	山(田中悦)
23	土		23	火	
24	日		24	水	西大和つうしん原稿締切
25	月		25	木	
26	火		26	金	座学「事故事例研究」
27	水	西大和つうしん(8月号)メール配信予定	27	土	
28	木		28	日	例会山行1 赤目四十八滝(辻)
29	金		29	月	
30	土		30	火	
31	日		31	水	7・8月室内例会(19:30)

山行・行事等参加メモ

No.	氏名 (入会順)	6/29 室内例会	7/3 兜鎧	7/8 座学	7/15~ 鳳凰	夏山自主山行					8/21 能郷白山	8/26 座学	8/28 赤目	9/24・25 テント泊
						7/23 -28 拇海	8/7- 11 不帰 キレット	8/9- 13 穂高 縦走	8/18 -20 甲駒 仙丈	8/10 -22 鹿島 槍				
1	(窪田)													
2	都築													
3	藤井		○			○				L				
4	(石田)													
5	多賀		○											
6	田中悦		◎								L			
7	島崎		◎			○	L◎		L◎		L◎			
8	田中初		○											
9	村田		○											
10	林							○						
11	辻		◎			L◎							L	
12	勝尾		○		○					○				
13	藤本			講師	L			○				講師		
14	杉村		○				○			○	○			
15	高橋		○											
16	玉越							○						
17	杉川													
18	阪口													
19	橋本		○		○		○			○	○			
20	今井		○		○	○	○		○		○			
21	亀高		L ◎		◎			L						
22	松浪													
23	亀井		○		○		○							
24	船江		○		○			○						
25	野路		○		○		○				○			
26	中		○		○				○					
27	杉森		○						○					
	合計		18		9	4	6	5	4	4	5			
	緊急 連絡先		林											

L:リーダー、○:参加、◎:車運転、講師:座学講師

山行報告

自主山行

北アルプス **白馬岳** 2932.3m

【日 程】★前編★4月29日（金）夜発～5月3日（火）

【参加者】L 中武（奈良労山）・藤本・杉川・今井（計4名）

昨年5月の火打・妙高、立山山行をもって活動にピリオドを打った“Team Y²”^{*}に代わり、新たに結成された«Équipe Y»^{**}の初山行。ゴールデンウィークの悪天候の下、多くを学ぶ貴重な体験となった。以下はその山行報告書からの抜粋である。

^{*}Team Y²： 県連ハイキングリーダー学校修了生によって結成された雪山テント泊登山をメイン活動とするグループ。リーダー学校講師、中武佳史氏のイニシャルからとった Y と、目標とした残雪の槍ヶ岳の Y をかけあわせた名称。

^{**}Équipe Y（エキップ・イグレク）：2016年4月に結成。Team Y²のコンセプトを引き継ぎつつも、メンバーを更新。目標は槍ヶ岳に限定しないということで、Y²から Y（中武佳史氏のイニシャルのみ）となった。エキップとは仏語でチームのこと。またイグレクも Y の仏語読み。この名称には、伝統的ヨーロッパ・アルピニズムへの傾倒と回帰の思いも込められている。

4月30日（土）（入山）

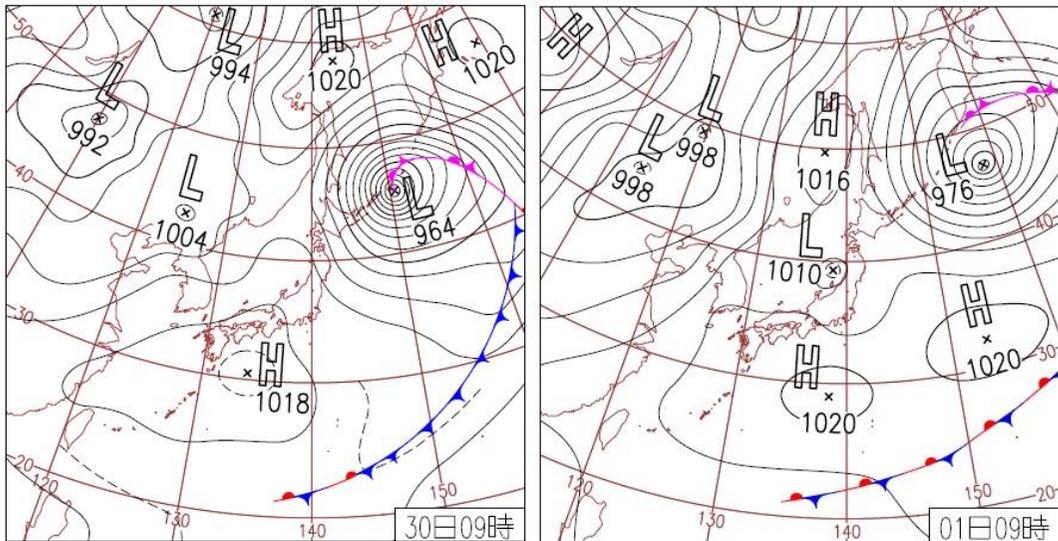


◆09:10 樽池ロープウェイ自然園駅出発。風も穏やかな晴天、この後天候が急速に悪くなると思えない。ただ、すでにこのとき、上空にかすかに巻層雲（悪天の最初の兆候となる高層の雲）が現れていた。◆11:15/25 天狗原。北の空に積層雲が現れ、早くも天候の崩れを予告している。天狗原は地形的な特徴に乏しく、悪天時はルート・ファインディングが必要となるため、バック・カントリー用の目印を確認しながら通過する。◆12:25/40 標高 2,370m 付近の岩陰（乗鞍岳ケルンの東約 400m 地点）。空全体が雲に覆われ日照はなくなった。この場所より乗鞍岳ケルンまでの間も地形上の特徴が少ない平坦地のため、ほぼ真西に進路を保つことを意識しつつ進む。◆12:55/13:00 乗鞍岳ケルン(2,456m)。ここより、北西方向に向かい、凍結している白馬大池を渡る。気温は決して低くないが、氷はほぼ安定している模様だった。◆13:40 白馬大池テント場到着。==◆テント場にて 北～北西の風を想定してテント場を選定、整地に続いてテント設営を行う。冰雪ブロックの切出しと積み上げ、キジ場作成を行う。その間にも天候はますます悪化、気温も急降下。突風を伴う強風は翌々日朝まで間断なく続き、両端で寝た二人は夜通し背中をテントに叩かれた。



5月1日(日)(停滞)

◆寒冷低気圧通過に伴い、暴風雪が続いたため行動できず白馬大池テント場にて停滞。14~15時頃、ネット受信のためテント場から南南西約400mの高台(テント場より約80m高い)を往復。メールの受信のみで天気図など容量の大きいデータのダウンロードはできなかった。北の風が異常に強く、突風発生の高頻度も高く、体重のある藤本が飛ばされそうになった。ホワイトアウトの恐れもあるため、早々にテントへ戻った。



移動性の高気圧に覆われて好天となるように見える 4/30-5/1 の天気図。しかし、30日の天気図で朝鮮半島北部にある1004hPaの低気圧は、上空に強い寒気を伴った「寒冷渦」で、地上天気図では小さく見えるにも関わらず、激しい気象変動をもたらす危険な低気圧である。30日朝に快晴であった北アルプスの天候は、この「寒冷低気圧」の接近とともに急変、午後から翌日にかけて暴風雪となり、多くの遭難者を出すこととなった。今年のゴールデンウィークは、この低気圧が去った5月2日ただ1日のみが山行日和であった。〔天気図は気象庁HP「日々の天気図」より〕

5月2日(月)(アタック)

◆08:07 白馬大池テント場出発。この日入山後初めてアイゼンを装着。天気は快晴。北~北北西の風がやや強いが、昨日に較べればかなりおさまっている。気温は高め、ただし太陽が上がってからまだ時間が経っていないので雪は締まって歩きやすい。途中、進行方向左手(東)に乗鞍・白馬大池から直登する別パーティーを確認。◆09:00/11 稜線合流。もともと積雪が少ないが、稜線北西側は強風のためか一部礫岩とハイマツが露出している。◆09:17 P.2612(船越ノ頭)到着。先に確認していたパーティーと同時だったため、停止せず通過。空に巻層雲が現れ始め、ゆっくりと天気が下り坂に向かって見えていくのが見て取れる。◆09:31 標高2,610m付近の丘状になった部分で、ライチョウの雌雄に出会う。冬毛から夏毛に移行途中で体は斑模



様、雄の赤い肉冠が美しい。◆10:09/31 小蓮華山(2,763.4m)。北西の風が非常に強いが、気温が高いため体感温度はさほど低くならない。風をよけてピーク南東側で休憩。インターネットの通信は不安定ながら可能。中武氏の助言に従い、藤本もアウターを着用。先ほどのパーティーが到着したが、強風を警戒してか、そのまま下山して行った。◆10:40頃 小蓮華山を出発後、少し下った付近でこの日最も強い風(北西)を経験。突風というよりは、ある程度継続する間歇的な吹き方である。中武氏よりこの先進むか否かの問いかけあり。個人的にはこの程度の風の強さは想定内であり(前日の偵察時の方がはるかに強かった)、体感温度としても問題を感じなかったが、体重の軽いメンバーについては注意が必要かと思い、三国境手前の登り付近まで行って再度判断しては、と進言。強風が顕著となったこの場所は風上(北西側)が、吹き上げる風を集約しやすいカール状となった地形で、この先地形が変われば風の強度が緩む可能性があると考えた。正確な理由は不明であるが、三国境からあと、下山時まで、この地



点で経験した以上の強風には見舞われることはなかった。◆11:25/30 三国境(2,751m)。三国境への急登部分は雪が多く適度の軟雪だったためスタンスがとりやすかった。上層の巻層雲がだんだん増えているものの、太陽光を遮るほどではないため、本日中の天気は崩れはないと判断。目指す白馬岳山頂方面から、唐松岳、鹿島槍ヶ岳への山容が美しい。◆11:55 白馬岳山頂の北約500m、標高1,830~1,840m付近の急登部分。稜線から僅かに西側をトラヴァースする(2年前の同時期は稜線上にトレースがあったという)が、砂礫帯についた雪が薄く、わずかにクラストしている場所もあって、アイゼンの前爪を利かせキックステップで登る。◆12:20/27 白馬岳山頂(2,932.3m)。頂上付近は東側に雪庇が張り出しているが、例年に比べれば規模は小さい。雪庇を越えて東からの主稜線を登攀するパーティーあり。風が強いため、記念撮影を済ませたあとすぐに出発。◆12:58 標高1,840m付近の急降下部分。初めトラヴァースを避けて稜線下の下降を試みるが、東へ張り出す雪庇の基部で雪が深くしかも緩いため体が深く沈み断念、結局登りとほぼ同じルートで、アイゼンの前爪を利かせ慎重に下る。今回の山行で唯一通過に気を遣う場所となった。◆13:14 三国境。◆13:25/45 三国境と小蓮華山の間(標高約2,690m、南側が岩壁となって



いる部分)、インターネットの感度良好につき、天候に関する情報等をいくつか取得。◆14:15/37 小蓮華山。空はまだ青いが、一時、太陽に薄い曇りがかかり、天候が確実に下り坂であることを確信する。◆15:10/13 P.2612 (船越ノ頭)。往路、他のパーティーがいたためできなかった記念撮影をする。◆15:18 トラヴァース道分岐。往路と異なり、稜線を進む。その後、白馬大池に向けて急降下。途中、暑いため衣服調整や休憩。◆16:02 白馬大池テント場帰着===◆テント場にて 防風壁の再構築。防風壁として積み上げたブロックの隙間が十分に塞がれていなかったため、強風が通過しながら雪を融かし、結果として壁の崩壊を引き起こしていた。キジ場も改めて作成。



5月3日(火)(下山)

朝から西よりの風がやや強く、気温は上昇。空一面を高層雲が覆い、すでに温暖前線が接近していることが分かる。昨夕再構築した防風壁は、暖かい風のために瘦せこけ、穴だらけになっていた。



白馬大池を横断して・・・

◆09:36 白馬大池テント場出発。5日まで当地に留まる予定の中武氏と杉川を残し、藤本、今井は下山のためテント場を出発。気温が高いため、白馬大池の横断は念のため雪面に亀裂のある場所を避けるなど注意して進んだ。◆10:10/20 乗鞍岳ケルン。往路の際と全く様相が変わり

大半の地面が露出、ここ数日の天候の急変を物語っていた。◆10:34/44 往路でも休憩した標高2,370m付近の岩陰(乗鞍岳ケルンの東約400m地点)。急下降に備え念のためアイゼンを装着した(結果的にアイゼンは不要であった。雪はかなり緩んでいて、壺足で滑降した方が速かったと思われる)。◆10:55 天狗原(急下降終了点)。当日より入山の奈良労山パーティー8名とすれ違い、言葉を交わす。吹雪や濃霧時はロストする恐れのある天狗原だが、今回はまだ天候悪化前であり、往路で確認した目印もすぐに見つかり、ルートを容易に維持できた。ただしすでに南西に変わった風が強さを増してきており、アイゼンを外す時間を惜しんでそのまま進んだ。◆11:30/40 成城大学小屋前。すでにロープウェイ乗り場直前で、天候急変のリスクは回避できるということで最後の休憩。アイゼンの取外し。なお、標高1,900m付近で夏道登山道は尾根筋を南にはずれ、ビジターセンター付近の登山口に向かうが、我々はそのままスキーヤーのトレースを辿って尾根筋をキープした。距離は同じ、時間的にはこの方が有利だったと思われる。◆11:46 柵池ロープウェイ自然園駅到着。

(記：藤本武司)

例会山行 2

高見山地 学能堂山 1021.4m

【日 程】5月22日(日) 晴れ

【参加者】L 島崎・田中悦・田中初・村田・勝尾・亀高・中(7名)

【コース】神末上村登山口(9:10)～小須磨峠 820m(10:12)～白土山 980m(10:47)～学能堂山(11:30/12:30 昼食)～県境分岐(12:38)～林道終点(13:07)～杉平登山口(13:40)

神末上村の登山口が少し分かにくく行きすぎて戻ることになりましたが、車を杉平の下山口に1台デポしている間、残りの人はストレッチなどして待ちました。

全員揃ったところで申し分のない五月晴れの中を出発。登り始めたあたりには、フタリシズカが群生していて「あ！フタリシズカ！」くいしんぼうの私は、有名な和菓子が頭に浮かんでしまいました。花は、まだつぼみが少し出たぐらいで見ごろはまだ先でした。全体的に緩やかな植林帯の登山道ですが、間伐で切り倒した倒木をくぐり、あるいはまたぎ、払われたたくさんの枝に足をとられながらの歩きにくい山道でした。「ここは、登山道なのにー」思わず愚痴がでるほどでした。植林帯を抜けると雑木林になり、風が通って涼しく、明るい美しい新緑の木漏れ日の中、快適な山道がつづき、しばらくすると木々の切れ間から青空が見え、真っ直ぐな急斜面いよいよ頂上！空を見上げながらはりつくような登り、思い返すと今回一番の難所でした。

頂上は360度の素晴らしい展望で見晴らしも良く、国見山、俱留尊山、大洞山の雄山、雌山、ニヶ岳、三峰山とおなじみの山が一望できました。山名のいわれ

は、かつて文殊菩薩がまつられ知恵を授かるための信仰があったことに由来するそうです。アップダウンもあまりなく再び登りと同じような払われた杉の枝でいっばいの長い山道を下り杉平に到着しました。



(記：中 昌子)

県連初級登山学校 (ハイキングリーダー-学) 第3回実技山行

テーマ：地図読み

比良の山 堂満岳 1057m

【日 程】 5月22日 (日) 晴れ

【講 師】 中武佳史 (奈良労山) 【スタッフ】 藤本 【受講生】 橋本・野路 //
T.O. (L・奈良労山)・A.Y. (奈良 HC)・N.K. (こぶし)

【コ-スタム】 比良駅(8:09/9:00)→イン谷口への一般道 161 号線高架手前(9:30/10:00)→
イン谷口ノタノホリ分岐(10:20/10:45)→ノタノホリ〔昼食〕(12:00/12:55)→堂
満岳(14:50/15:15)→金糞峠(15:55/16:15)→青ガレ(16:55)→大山口(17:35)→イン
谷口(17:55)→比良駅(18:35)

☆比良駅☆

計画書の重要性について

- ・山行目的=読図山行
山行の目的を明確にする。
- ・コース=詳細には書かず状況に応じて変更
できるような記入をする。但し別欄にはエ
スケープを含め、何通りかのコースを詳細
に書く (遭難した時、少しでも早く捜索し
て貰う為)
- ・計画書はメンバー、緊急連絡先、登山口又
は降車駅、最寄りの警察署等に出す。

状況に応じてコースを変更する時

- ・リーダーが状況やコースを説明。メンバーの意見を聞いてコースを選択。「選択
した理由」「駄目な理由」を説明する。



☆イン谷口への一般道 161 号線高架手前☆

現在地と前方の山の位置確認

- ・地図上で現在地を正確に知る。現在地が
確定したら、現在地に磁石を合わせる。
- ・地図に磁北線を入れている時はそのま
ま北に合わせ、磁北線が入れてない時
は真北より西に 7 度 10 分ずらす(比良
は 7 度 10 分・計測する位置で偏差は変
わる)
- ・前方の山と地図の山を見極めたら、目標
の山に磁石の→合わせ、針の N とリングの N 極が合うようにリングを回して
角度を見る。西北 280° となった。



☆イン谷口とノタノホリの分岐点☆

進行方向の確認の仕方と距離

- ・確認場所を何処まで行くか決め、決めた場所までの距離を地図で計算する。

- ・計算方法(イン谷口まで他) イン谷口迄 25,000 分の 1 の地図で 1.2mm
1cm=250m 1.2=300m×2=600m 時速 1km=15 分 600m=10 分
- ・リーダーが時間を決めて(10 分)、進行方向の確認をしてくるようメンバーに指示をして、持ち帰った情報を元に進む方向を決め、決めた理由をのべる。



☆分岐からノタノホリ☆

ポイントの大切さ

- ・地図でポイントになる個所を予め調べておく。尾根、沢、ピーク又急に方向が変わる所、南西から北西の方向に変わった所は分かり易いポイントであった。
- ・「レスキューポイント」は事故などあった時に役にたつので NO も覚えておく。

☆ノタノホリから堂満岳☆

休憩ポイント

- ・安全な場所で休憩をする。地図を見て、あとどれぐらいで広い尾根に出るかを読む。ジグザクのトラバース道は危険で広い尾根が安全な休憩ポイントになる。
- ※30 分で休憩を取るのは歩く速度が速いと言う事(トラバースで休憩)
- 一時間ぐらい休憩なしの速度が良い

☆堂満岳山頂☆

下山時のコースとタイムを地図で確認。金糞峠から青ガレ、イン谷口と決まる。



☆金糞峠☆

ガレ場歩きの注意

- ・青ガレは崩落でかなり道は荒れているとの「注意書き」があり慎重に下る事。
- ・5m ぐらいの間隔で歩く。落石、浮石に注意。

☆青ガレ☆

「青ガレで待つ」の指示があったが、ガレ場歩きのため足元ばかり気にかかり、「待つ」指示を忘れて、L や皆の後に付いて行ってしまった。

☆まとめ☆

常に地図とコンパスで確認をしながら歩き、現在地を知っておくこと。又目印やポイントになる所を予め調べておくこと。

☆反省☆

青ガレは何度が来ており、青ガレが過ぎると対岸に渡る事も知っていた。又岩に黄黒のロープがはってある事も気づいていたのに、注意を怠った。

(記：野路政子)

自主山行

大峰山系 行仙岳～前鬼（南奥駈道）

【日 程】2016年5月28日（土）～29日（日）

【参加者】L 藤本・SL 杉川・SL 亀高・藤井・多賀・杉村・橋本・今井・亀井・野路・中（11名）

【1日目】5月28日（土）曇り

【コース】白谷隧道東口(10:00)～行仙岳(11:20/40)～怒田宿跡(11:55)～P1703m(12:30/50 昼食)～倶利伽羅岳(13:40/45)～転法輪岳(14:25/40)～平治ノ宿(15:05/10)～千日刈峰行(15:22)～持経ノ宿(16:30)

第4回目の大峰奥駈に参加した。

白谷トンネル手前のNTT 行仙無線中継所巡視路入口の要壁の階段を上り、物置小屋を見送り、鉄の階段を登っていく。朝一の階段は体にこたえるが、ゆっくりと一歩一歩確実に高度を上げていく。

一時間程で佐田辻の奥駈道に出る。ここから10分程でパラボラアンテナの立つ行仙岳につく、ここで一息いれたいが小さな虫が寄ってきて落ち着けない、虫よけネットを頭からかぶり異様な雰囲気になる。足を滑らせそうな急坂を下り、怒田宿跡に向かう。

右は杉林、左は自然林の尾根筋、新緑若葉の色が鮮やかで、疲れた目と心を癒してくれる。倶利伽羅岳手前の見晴らしの良いP1170mで遅めの昼食に。なぜ山での食事はおいしいか大自然のおかずとスパイス、とくに世界遺産の大峰の山並みを見ながらの食事は格別です。

転法輪岳が近づくとつれ、ガスが湧いてきて、それがまた大峰の雰囲気を出している。「これからの天気はどうですか」とリーダーが気象係のHさんに質問すぐさまスマホより返ってきました。お見事。転法輪岳は樹木が成長し頂上には二等三角点の標識があり視界が得られない。



尾根を下れば平治ノ宿が現れる。立派な小屋の前は広場になっていて5分程のところに水場もある模様だ。また遠く釈迦ヶ岳や大日岳が望まれる。

両又分岐を過ぎれば、周囲5m40cmの大木（大峰巨樹ナラ）がある。西大和の女性6人で、やっと周りを手でつなげる大きさだ。また持経千年桧をすぎれば今日の宿につく。札幌から来られたと言う一人の先客がおられた。立派な小屋で20人程は泊まれそうだ。また400m程林道を下れば、豊富な水場がある。

予想どおりの天気、計画どおりの行程で、全員無事一日目が終わり感謝。

（記：多賀周二）

【2日目】5月29日(月)曇りのち雨

【コースタイム】持経ノ宿(5:50)～阿須迦利岳(6:20/30)～証誠無漏岳(7:10)～涅槃岳(7:44/58)～般若岳(9:17)～ティタイム(9:30/58)～地蔵岳(10:18)～天狗山(11:40/12:00)～蘇莫岳(12:50)～太古ノ辻(13:05)～両童子岩(13:56/14:20)～前鬼小仲坊(15:20/28)～前鬼林道ゲーム(15:59)

モルゲンロートを拝み、ゆっくり朝食を摂り、快適な持経ノ宿を後にして出発。早速急登。でも東風が頑張れと背中を押してくれる。阿須迦利岳迄息せき切って登り終え、クサリ場の急下降。シロヤシオは既に散っていた。証誠無漏岳を過ぎると新緑の雑木林の尾根歩き、目前に涅槃岳がそびえ立っている。すると後方の2人が「懺～悔、懺悔、六根清浄～」と唱えてくれて正に行者気分。その涅槃岳山頂を



過ぎ下りにさしかかると突然シロヤシオのトンネル。足元には白い花びらの絨毯。山つつじも小さな春蝉の抜け殻も有り、般若岳を過ぎると遠景が綺麗に見え地蔵岳には小さなお地蔵様が祀られていた。少し行くと広々とした草地にでた。天狗の稽古場で舞でも稽古したのかしら？ 次のコルが嫁越峠。十津川村側は悪路だが判明しているが下北山村側は道が不明との事。昔は奥駈道全体が女人禁制で、この峠も幅10m程のみが婚礼の為女性が通

れたらしい。それにしてもこの峠を越えての嫁入りとは……。

天狗山も白ヤシオの森と山つつじが綺麗に咲き誇って、その間から釈迦ヶ岳、大日岳が見え、ホラ貝の音が聞こえた。ササの綺麗な道を歩いて行くと満開を一寸過ぎた石楠花が沢山迎えてくれ、堪能していると蘇莫岳、太古の辻の分岐。

気を引き締めて前鬼小仲坊迄標高差700mを一気に下山する。涸れ沢には苔むした大岩がゴロゴロ。長い長い木段を気を付けながら下って行くと、両童子岩。遠くから見ると中が割られた岩に見えたが実は大岩が向き合っている。前鬼小仲坊迄来るとオオヤマレンゲの花が咲き、村人と新宮山彦グループの人達が行者様達の到着を待ちわびていた。



前鬼林道ゲート迄標高差200mアスファルト道を歩き初めて暫くするとポツポツ雨が降ってきてお迎えの車に到着。南奥駈の奥深さと、送迎して頂いたT氏に感謝しつつ帰路についた。

(記：亀井稚代)

例会山行 2

県連クリーンハイク ニ上山

【日 程】 6月5日 (日) 曇り

【参加者】 L辻・島崎・田中悦・田中初・勝尾・多賀・林・藤本・杉村・高橋・橋本・今井・亀高・船江・野路・中・杉森・一般4名 (計21名)

【コースタイム】 ふたかみパーク當麻(12:30)～加守神社口登山口(12:45)～雄岳(14:05)～馬の背(14:30)～雌岳(14:45)～岩屋(15:10)～祐泉寺(15:35)～ふたかみパーク當麻(16:15)

午前中の降水確率70%! 朝からよく降る雨でどうなるかと思いましたが、雨も上がり12時集合に変更となりました。一般参加では何名か取り止めた方もあり参加人数も減りましたが、ふたかみパークに12時に集合し、軽く昼食とコーヒータイクを取り出発しました。

ゴミを拾いながら雄岳をめざしました。管理の行き届いた山で山道にはゴミはかなり少ないのですが、藪や谷に投げ落としたゴミなどがあり目立たないマナーの悪さを感じました。3班にわかれて山道を登りB班がしんがりとなりゴミは拾われたあとなので、だんだん火バサミが杖となりがちでした。雌岳からはA・B・C班3方向の山道にわかれ、咲き始めたささゆりを楽しみながら下山しました。



結果は可燃ごみ5.0kg、ペットボトル0.4kg、ガラス瓶0.9kg、缶1.2kg、合計7.5kgでした。昨年も今回も機敏な動きで大活躍していただいた一般参加のTさん、ありがとうございました。

(記：中 昌子)

自主山行

台高の山 大台ヶ原・日出ヶ岳 1695.1m

【日 程】6月8日（水）霧雨のち晴れ時々曇り

【参加者】L 島崎・今井・野路・中（4名）

【コース】大台ヶ原駐車場(9:30)→日出ヶ岳(10:20)→正木峠(10:45)→牛石ヶ原(11:55/12:40)→大蛇ヶ岳(13:00)→シオカラ谷(13:50)→駐車場(14:40)

昨年、シロヤシオを見に行くも全く咲いておらず、今年こそは・・・白い花のトンネルをくぐってみたい・・・の思いで、再度訪れた。駐車場まで「15K」の標識があったあたりから、ガスでホワイトアウトになり、視界が全くなかった。駐車場についても視界はなく、霧雨も降りだし、カッパを着ての山行となった。

日出ヶ岳が近づくにつれて、「シロヤシオ」の花が見え始めた。相変わらず視界はなく、日出ヶ岳から正木峠へと進む。正木峠迄の道はシロヤシオが満開であった。雨の中の白い花は、水滴をつけ、少しうつむき、清楚で可憐な花だった。花は満開だったが、全体から見ると3割ほどしか咲いていない感じだった。山全体が花を咲かせるのは何年に一度だろうか？3年、4年・・・いつか、シロヤシオの花で満開のトンネルをくぐってみたいと思う。



正木ヶ原まで来ると晴れてきた。牛石ヶ原で昼食、その後大蛇ヶ岳へ。大蛇ヶ岳では

シロヤシオとアカヤシオも咲いていた。私はアカヤシオを「あけぼのつつじ」と覚えていた。同じ花だと初めて知る。

再びガスが出て、あの 大蛇ヶ岳の深い谷も何も見えない。その後シオカラ谷まで下り、急登の階段を登って駐車場へ。ガスと霧雨で視界はなかったが、それも又大台ヶ原の幻想的な美しさであった。

（記：野路政子）



例会山行3（教育山行）：岩稜歩行講習会

京都の山 金毘羅山 Y懸尾根

講師：中武佳史（奈良労山）

【日 程】6月6日（月）晴れ

【参加者】L今井、勝尾、亀井、杉村、玉越、野路、橋本、高橋（8名）

【コースタイム】花尻橋バス停(9:20)～江文神社(9:40/10:10)～金毘羅山Y懸尾根(10:30/16:20講習)～江文神社(17:00/10)～花尻橋バス停(17:30)

夏山山行の岩稜コース参加者を中心に昨年に引続き今年も講師に中武佳史氏を迎えて岩稜歩行講習会が行われ、昨年経験者5名と初参加3名が参加した。江文神社横の広場で講師から講習のネライや諸注意を受けたあとハーネスを装着して出発。Y懸尾根到着時に先着の3人組がいてバッティングかと思ったが、縦走して行かれ、以降私達の貸切状態となり、他パーティーに気兼ねすることなく講習に集中できた。

講師がフィックスロープを設置中に受講者はお互いにブルージックが機能するか確認しあい、本番を開始した。最初はロープにブルージックをセットし空身で登る練習を行ったがブルージックを進めるのを忘れることが多かった。

次はそこから下降する練習をした。講師からは、下降時に岩にしがみつくと足元が見えないので、上半身を岩から離して肩越しに足場を確認しながら降りることが大事との教えがあったが、中々上手くいかないこともあった。第1回目の空身の登下降に約80分掛かったが、易しい岩場だったので先ずは無難にスタートした。次は同じ岩場を、ザックを背負って登ったが全員スムーズに登れたと思う。

高度が上がっていくと段々と難しくなり、講師が手本を示して下さるがいざ自分でやってみると上手く登れないことが多くなった。特に4番目と最後5番目(?)のY懸尾根の頭は、取っ付きの三点支持の手掛かり・足懸りが無く(有るが溝が浅く、脚力や握力が弱く・股関節の固い者には無いのと同じ)、落下を繰返しながらも皆に励まされ何度かトライして全員がY懸尾根の頭に登りきることが出来、楽しく充実した岩稜講習会の日となった。

当講習は岩稜歩行の入門の入門編だと思う。受講したからと安心慢心することなく実際の厳しい岩場では細心の注意を払い事故・トラブルのない楽しい思い出を作れたらと思う。

最後にご指導いただいた講師の先生にお礼申し上げます。有難うございました。また、リーダーさんには、各人に的確な指導や助言をいただき、またロープの回収などで昼食も摂れなかったハズ、感謝感謝です。
(記：高橋稔)



【日 程】6月11日(土) 曇り

【参加者】L藤本、島崎、林、橋本、今井、亀高、船江、野路、杉森(9名)

【コース】花尻橋バス停(9:32)～江文神社(10:00)～登山口(10:07)～Y懸尾根にて岩稜歩行訓練(10:20)～〔この間の各岩場にて、岩登り訓練〕～Y懸の頭(15:30)～登山口(16:00)～花尻橋バス停(16:30)

6月1日の教育座学で基本のロープワークについて学んだ。今回の実山行「岩稜歩行」は、これを実際の岩稜にて体験するのが目的である。

初めに、講師の先生から講習の目的、実施内容の説明があった。今回のメインテーマは「岩稜の登り降り方」と言われた時、無事に下山することが最も重要なんだということを改めて認識した。いよいよY懸尾根取りつき最初の岩場だ。ブルジック結びを学んだけれどすっかり忘れている。復習しておくべきだったと後悔しても遅い。ベテランのIさんが何度も教えてくれるがなかなか理解できない。先生に手取り早い方法を教えていただき、やっとできた。

Y懸のほとんどの岩稜は最初の取っ掛かりが難しい。始めは手と足の確保ができなくて焦ったが、先生に「手取り足取り」教えていただき何とかクリアできた。一方、1本目のルートで下り方を体験した。急斜面の下りは登りよりずっと難しい。後ろ向きで肩越しに足場を確認しながら降りるのは初めてである。これまではたいてい前向きに降りていた。危ないことをしていたと思う。全員脇道を使わずに延べ7本の岩稜ルートを登り切った。足場のない所や狭くて斜めの所が多くあり、簡単に登れるルートは一つもない。気温30度の下、約5時間の訓練で汗(冷汗を含む)を大いにかき、水分補給をしっかりと



取った。Y懸の頭に到着、眼下に大原の里が見えた時達成感で一杯になり、これまでの疲れも吹き飛んだ。講評の時先生から、岩登りは手足も使うが頭も結構使うと言われた。今回はロープで安全を確保しながらの岩稜歩行だったが、常に細心の注意と、強い精神力が要求された。岩稜歩行でなくてもこの経験は生かされると思う。本当に良い経験をさせていただいた。



初めての岩稜歩行を無事終了できたのは、ひとえに講師のN氏、CLのF氏、そして先輩の皆さん方の親切で丁寧な指導のお陰です。感謝申し上げます。

(記:杉森英二)

室内例会だより

【日 時】2016年5月25日(水) 19:30~21:00 事務所

【出席者】藤井、多賀、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、杉村、高橋、玉越、杉川、坂口、今井、亀高、亀井、野路、中、杉森、橋本

1. 山行案内

6月 5日(日) 県連クリーンハイク 《二上山》……………L 辻

6月 6日(月)・11日(土)教育山行岩稜歩行訓練《金毘羅山Y懸尾根》

講師…奈良県連教育部長 中武佳史氏

6月 19日(日) 教育山行(夏山訓練山行第一回) 鈴鹿の山

《国見山 1160m~御在所岳 1209m》……………L 島崎

6月 26日(日) 例会山行2 丹波の山《五大山 569m》……………L 田中悦

7月 3日(日) 例会山行1 室生の山《兜山 920m~鎧岳 893.9m》……………L 亀高

2. 山行報告

4月 9日(土) 県連初級登山学校《比良山系》講師 中武(奈良労山)・L 野路

スタッフ 杉川……………計6名(他会2名)

4月 24日(土) 例会山行2《岩ヶ峰 920m~釈迦ヶ岳 1091.9m》L 玉越……………11名

5月 1日(土) 自主山行《入道ヶ岳 905.6m》L 島崎……………5名

5月 8日(木) 例会山行3 教育山行《矢田山 341m 付近》L 杉川……………7名

5月 7日(土)~12日(木)自主山行《佐渡：金北山 1172m~金剛山 963m》

L 島崎……………5名

5月 15日(日) 例会山行1《経ヶ峰 819m》L 橋本……………17名

3. 連絡その他

★県連からの報告

- ・ 県連ニュース 6月号「会のたより」に玉越さんが書かれた文章が掲載されています。お読みください。
- ・ 女性委員会主催「山筋ゴーゴー体操講習会」
7月2日(土)13:30~15:30 開催場所…大和郡山市民交流会館。申込:6月16日迄。
定員30名の為参加希望の人は早急に今井さん迄連絡のしてください。

★教育部より

- ・ 6月1日(水)座学 於：本会事務所 時間 19:30~
講習内容…①ロープワーク (エイト結び、プルージックの結び方) ②読図
個人が用意する物がある場合、後日連絡あります。
- ・ 岩稜訓練講習会 (講師 奈良県連教育部長 中武氏) 於：金毘羅 Y 懸尾根
6月6日(月)・11日(土)開催(両日参加可能)。講習会参加者は、上記座学にできるだけ参加の事。
- ・ 6月17日座学 於：本会事務所 時間 19:30~
講習内容…運動生理学
夏山及び夏山訓練山行に向けて参考となる内容なので、ぜひ受講してください。

★6月5日(日) クリーンハイクについて

- ・ ゴミ収集については、葛城市の協力は得られないので、持ち帰りとなる。

(記：橋本紀子)

西大和つうしん

第 409 号 (2016 年 7 月号)

2016 年 6 月 27 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.com/](http://www.nishiyamatoyama.com/)